

## 2023年度事業計画（案）

### 1 事業概要

#### 1.1 事業方針

世界の安全保障を取り巻く環境は目まぐるしく変化しており、経済活動も安全保障の一部として取り扱われ、サプライチェーンの混乱、エネルギー価格の高騰など、世界経済はかつてないほど混沌とした状況となっています。また新型コロナウイルスへの対応も、行動制限からウィズコロナへと移行するなかで、働き方改革の推進も相まって、多様な働き方への対応が迫られると同時に、労働人口の減少への対応も待ったなしの状況となっています。また、持続可能な社会の発展に向けてカーボンニュートラルへの取り組みも求められるなど、社会が抱える課題は山積しています。

そのような中で、昨年、開催した「ひろしまIT総合展2022」では、2日間で延べ約1万人もの多くの来場者が、各社展示の見学や、講演やセミナーの聴講を熱心にするなど、大変熱気を帯びた展示会となりました。このことは山積する社会課題の解決に向けて、DX（デジタルトランスフォーメーション）に対して大きな期待が寄せられていることの表れだと実感できました。

このような期待の高まりに応えるために、広島県情報産業協会に集う私たちは、個社ごとの能力を高めるのは勿論のこと、各社の強みを活かしつつ不足する部分を補完しあい、山積する社会課題に向き合っていくことが肝要であり、そのことが地域産業全体の発展への貢献にも繋がり、当協会の設立趣旨ならびに「HIAのビジョンと戦略」に沿うものと考えます。

今年度は前述の主旨に則り、個社ごとの能力の向上と、会員相互の連携に活動の重点を置き、特に「ひろしまITフェス2023」（仮称）では、この主旨を踏まえて、従来の開催形式に拘らず新たな方法を模索し、より意義深いものとするここと、来年度、当協会が発足して40周年を迎えるにあたっての足掛かりを築く年としたいと考えます。会員皆様方の積極的な参加をお願いします。

#### <HIAビジョンと戦略>

##### (1) ビジョン

- ・ 会員企業の成長と高収益化を実現する
- ・ ITを中核技術として産業・生活におけるイノベーションを牽引する
- ・ グローバル化する成長市場への対応を通じ、情報通信産業の健全な発展と広島県の産業振興に寄与する

##### (2) 戦略

- ・ 新たなIT潮流のキャッチアップ
- ・ 激変する世界情勢への対応
- ・ 山積する社会課題の解決へ向けたデジタル技術の活用
- ・ 高付加価値な事業転換への対応
- ・ 情報技術・経営力の強化に資する人材育成

## 1. 2 重点事業

### (1) 「ひろしまITフェス2023」(仮称)の開催

企画委員会が中心となり「ひろしまITフェス2023」(仮称)の企画検討を行い、10月に開催いたします。最先端のIT技術トレンドに関する講演・セミナー等を通じ、山積する社会課題の解決に向けた手がかりとすると同時に、HIA参加各社の新たなビジネスの創出に向けたヒントとすることや、参加各社が得意とする技術・サービスに関する情報をお互いに交換しあい、互いに協働することで社会課題の解決に向けて取り組むきっかけづくりの場を提供します。皆様の積極的な参加をお願いします。

### (2) 新たなビジネスチャンスへの対応

経営委員会において、広島県、広島市、中国経済産業局、中国総合通信局や各企業団体、大学や専門学校などの教育機関との交流を通じて、最新の情報提供や新たなビジネスモデルの構築、デジタルトランスフォーメーションの推進を目的としたセミナーの開催等を企画し、新たなビジネスの拡大を図り、ICT企業経営者を支援します。

### (3) 先端的IT技術のフォローアップ

技術委員会及びHiBiS特別委員会において、IoT, AI, 5G, RPA, 情報セキュリティの技術動向の研究に加え、Web3.0, メタバース, 都市OSなど、さらなる新たな潮流となるIT技術の研究を進めて参ります。

### (4) 優秀なIT人材確保のための支援

人材開発委員会において、高度なIT人材やイノベーション人材の育成やリスクリング等によるIT技術者全体の母数の拡大支援、経営者セミナーの開催に加え、会員企業の深刻な課題であるIT人材確保のための支援活動を進めて参ります。

### (5) 激変する世界情勢への対応

劇的に変化し続けている国際情勢の中で、重要さを増すサイバーセキュリティ技術や、その他IT技術について、国内外における最新の動向や、IT技術活用状況をキャッチアップし、会員企業の国際的な対応を支援するための企画に取り組みます。

### (6) 会員同士の交流と会員増強

当協会ホームページのビジネス掲示板の活性化や、各種催事を通じて会員同士の交流を深める活動と同時に、広報活動を通じて会員数を増強し、広島県下のIT企業の組織化率の向上(会員の増強)に取り組みます。

### (7) 持続可能な社会の実現に向けた対応

持続可能な社会の実現に向けて、特に、カーボンニュートラルの実現に向けた社会全体の動向とITの役割についての情報収集と提供を行います。

(8) 創立40周年を迎えるにあたっての対応

2024年に当協会は設立40周年を迎えます。これまでの当協会の運営にあたってご助力頂いた方々に感謝するとともに、これまでの歩みを振り返り、新たな時代を切り拓くための取り組みについて、検討を開始します。

## 2 事業計画

### 2.1 会議の開催

重要議案審議のため、つぎのとおり会議を開催します。

- |          |               |            |
|----------|---------------|------------|
| (1) 通常総会 | 年1回           | 5月         |
| (2) 臨時総会 | 必要に応じて        | 随時         |
| (3) 理事会  | 原則として、毎月第2火曜日 | (8月、2月は休会) |
| (4) 三役会議 | 必要に応じて        | 随時         |
| (5) 各委員会 | 必要に応じて        | 随時         |
| (6) 各部会  | 必要に応じて        | 随時         |

### 2.2 委員会活動

#### 経営委員会

##### 1 事業方針

持続可能な成長に向けSDGs, ESG経営, カーボンニュートラル等が注目され, デジタルトランスフォーメーション(DX)は益々進展しております。新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しておりますが, ウィズコロナ・ポストコロナの時代の変化に向けて, ICT企業への期待は, ますます高まるばかりです。

ICTの役割が益々変化する中で, 広島県, 広島市, 中国経済産業局, 中国総合通信局や各企業団体からの情報提供やセミナー等の開催を企画し, ICT企業経営者を支援します。

##### 2 事業計画

###### (1) 定期委員会の開催

- ・会員の経営者間で情報交換・協議を行います。
- ・活動計画を協議し実施します。

###### (2) マーケティング部会 (セミナーの実施)

ウィズコロナ・ポストコロナの時代から自社の成長に向けたロードマップを検討される経営者・事業責任者等の方々に, 「事業目標の達成に向けたロードマップの策定」をテーマに研修会を開催します。

###### (3) 情報提供の実施

持続可能な成長に向け, 注目されているSDGs, ESG経営, カーボンニュートラル等の動向とITの役割など, 広島県, 広島市, 中国経済産業局, 中国総合通信局や各企業団体からのセミナー情報や最新情報などを会員企業に情報発信します。

## 技術委員会

### 1 事業方針

会員が I o T, A I, W e b 3.0, データ連携基盤, データサイエンス等の最先端の知識や実装技術を習得することを目的としたセミナー等の開催や各種情報提供及び委員会参加企業の経営に資する見学会等を実施します。また, セミナー等の企画立案を中心に毎月委員会を開催し, メンバー同士の意見交換を行います。

I o T 研究部会においては, 参加企業の I o T 課題を解決するための講習会を開催企画するとともに, 技術的な I o T・D X 関連セミナーを技術委員会と合同で企画します。

### 2 事業計画

#### (1) 定例委員会の開催

- ① 最新技術情報の交換を行います。
- ② 協会が主催する各種行事への対応を協議し遂行します。
- ③ 活動計画を協議し実行します。

#### (2) セミナーの開催

- ① 年4回開催予定のセミナーで会員に役立つ情報を提供します。  
テーマとしては, I o T, A I, W e b 3.0, データ連携基盤, データサイエンス, ロボティクス等の先端技術を中心に企画します。また, ハンズオン形式による機械学習を用いた自律走行の基本を学ぶセミナーを企画します。
- ② 委員会メンバーが相互に技術情報を提供するミニセミナーを開催します。
- ③ 委員会参加メンバーの経営に資する見学会を企画し実施します。

#### (3) 「ひろしま I T フェス 2 0 2 3」(仮称)

「ひろしま I T フェス 2 0 2 3」(仮称) の実施に向けて, セミナーの講師招聘等を企画委員会と協力して検討します。

#### (4) I o T 研究部会

- ① 現場の D X を実現するにあたって導入が難しい部分(特に機械やハードウェアの接続)など, 参加企業の I o T 課題を解決するための講習会を開催します。
- ② 技術的な I o T・D X 関連セミナーを技術委員会と合同で企画開催します。

## 人材開発委員会

### 1 事業方針

(1) 高収益型事業構造を実現する為の経営者の育成(事業を継続する知識を身に付ける)に取り組めます。

(2) アフターコロナに対応可能な高度 I C T スキル人材は大きく不足すると言われています。

こうした急激な変化に対応する為, これからの人材採用・活用の在り方や新時代の働き方への変革等長期的視野に立った課題への対応を行います。

- (3) 地域の産業振興の為に、地域ユーザ企業のDX化に柔軟に対応できる高度ICTスキル人材の育成に取り組めます。

## 2 事業計画

### (1) 人材育成と教育機関との連携

高付加価値事業領域（高収益型事業構造）への転換並びに情報技術、経営力強化に資する人材教育を推進します。また、県内の大学・専門学校、IT人材教育機関と連携し、情報交換を行うとともに、地元企業への採用活性化施策を検討・実施して参ります。

### (2) セミナーの実施

アフターコロナ禍における県内企業の業績悪化や人材採用意欲の減退等、県内経済活動が低迷する一方、コロナ後の新しい市場に向けた人材獲得の動きは活発になって来ています。特に、クラウドビジネス関連技術者やデータサイエンティスト等の高度ICTスキル人材の採用は今後さらに難しくなってくると言われています。

こうした時代への対応に向けて、従来から進めてきた経営者向けセミナー、若年層向けセミナーを進めるとともに、これからの業界に必要な人材像とテレワーク等の労働環境や働き方等に関してもセミナーを通じて情報提供して参ります。

### (3) DX時代の人材戦略に資する情報提供

デジタルトランスフォーメーション時代の人材には、アナログからデジタルへの変革を促し、データを戦略に展開する等、企業環境の変化を予測して変革を支援する高度かつ柔軟なスキルが求められます。

これまでに無い人材の雇用や育成をどのように進め、業績につなげてゆくか、新しい視点での会員企業の人材像に資する情報提供を行います。

## H i B i S 特別委員会

### 1 事業方針

H i B i S のミッションである「広島におけるインターネットを活用したビジネスの活性化」を実現するため、IT企業のみならずIT業界以外の組織や個人の方が参加できる機会を増やし、さらに各々の部会に顧問を設置することにより、産学連携を強化することを大きな方針とし、これまでの各大学との連携をさらに強化して、若年層の技術者や起業家の発掘に努めます。

まず、毎年開催している「H i B i S インターネットビジネスフォーラム」を引き続き開催する他、各部会からテーマを持ち寄り、「ITオープンセミナー」の開催を定期的に企画していきます。これまでに実績のある一般社団法人テレコムサービス協会との共催イベントを継続し、さらにH i B i S ビジネス交流会の開催により、異業種交流を深めていきます。

また、インターネット・セキュリティの分野においては、情報セキュリティに関する技術的要件を中心に、最新動向と問題点等を調査・研究し、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）と連携して「セキュリティ・ミニキャンプ」の開催を目指します。さらに、インターネットビジネスを展開する上で、ChatGPT、NFT、メタバース等の専門的な技術への対応が増してきていることから、ITトレンド研究部会を中心として新たなビジネストrendへも取り組みます。

以上のように今年度もHiBiSは広島発のインターネットビジネスやベンチャー企業の発掘を行うことで、業界および地域社会の情報化・高度化に取り組んでいきたいと考えております。

## 2 事業計画

### (1) 4つの部会活動

- |                   |               |
|-------------------|---------------|
| ① DX研究部会          | ② ビジネスモデル研究部会 |
| ③ インターネットセキュリティ部会 | ④ ITトレンド研究部会  |

### (2) ITオープンセミナー

HiBiS内外、およびメンバーの部会を超えた情報交換、親交を深める場として、ITオープンセミナーを開催します。ゲストスピーカーには、インターネットビジネスで活躍中の企業をお呼びし、ビジネスアライアンスの場を提供していくことで、HiBiSの活動を知って頂き、同時にHiBiSへの新規入会を促します。

さらに、産学連携の一環として、学校関係者（先生、学生）の参加を積極的に進めていきます。これまでのオンライン開催に加えて、会場での情報交流の場を提供したハイブリッド開催で実施します。

### (3) HiBiSインターネットビジネスフォーラム（第27回）

インターネットビジネスに取り組まれている企業からビジネス事例を発表していただく企画です。

企業の部として、HiBiSのメンバーか否かを問わず、自薦他薦形式で、中国エリアの企業もしくは当エリアで事業を展開する企業のビジネス事例を募ります。

また、学生の部として、起業家を目指す学生、ビジネスモデルを研究している学生等からのビジネス事例を募集します。

キャンパス枠（大学、専門学校等）は、今回で11回目を数えますが、広島県内の多くの学校から応募があり、未来を担う人材のサポートの場として定着してきました。11月（予定）には、事前審査により選定した優秀ビジネス事例をフォーラムにて発表していただきます。

企業の部、学生の部からそれぞれ、一般社団法人テレコムサービス協会主催の全国大会「Japanビジネスデザイン全国発見&発表会」への出場権または挑戦権が与えられます。また、応募いただいた全ての発表原稿は、PDFにまとめ後日配布予定です。

#### (4) セキュリティ・ミニキャンプ i n 広島 2 0 2 3

独立行政法人情報処理推進機構（I P A）および、セキュリティ・キャンプ実施協議会では、次代を担う日本発で世界に通用する若年層の情報セキュリティ人材を発掘・育成するため、産業界、教育界を結集した講師によるセキュリティ・キャンプを実施し、それを全国的に普及、拡大していく取り組みを進めています。H i B i Sではこの取り組みと連携して、昨年に引き続き、「セキュリティ・ミニキャンプ i n 広島 2 0 2 3」を開催します。

#### (5) インターネットによる情報提供

- ・ W e bサイトを活用してH i B i Sの活動状況を周知します。
- ・ S N Sを活用した情報提供を積極的に行います。

### 総務委員会

#### 1 事業方針

事業計画と予算の立案・執行の本部機能を発揮し、各委員会の活動を側面より支援していきます。具体的には事業計画および予算・決算の取り纏め、各種会議の取り纏め、行政・外部団体とのパイプ役、更に各委員会に属さない業務も含め幅広い業務を事務局と連携して行います。

また、総務部長会では引き続き会員企業の労働環境向上や働き方改革推進に向けて、労務関連、法改正、S D G s、ダイバーシティ等についての勉強会を実施します。

交流部会では会員の情報提供・情報交換を目的として、通常総会等で記念講演会、懇親会を開催するとともに、会員相互の親睦を深めるため、新型コロナウイルス感染状況を観ながら勘案し、イベントを企画します。

また、ビジネス交流会の開催など会員以外の方々との情報交換・交流の場の提供に努めます。

海外視察部会では、海外のD X事情に精通している方を講師にして、セミナーや講演会を実施します。海外視察については、新型コロナウイルスの感染状況を勘案しながら、実施すべきかどうかを判断する予定です。

広報部会では協会の活動を内外に伝え理解いただくと共に、協会を活性化するための広報活動を行っていきます。

#### 2 事業計画

##### (1) 総務委員会

- 事業計画と予算の執行に関わる業務全般
- 総会・賀詞交歓会の開催

##### (2) 総務部長会

- 総務部長会の開催（年4回程度）

##### (3) 交流部会

- 記念講演会、懇親会の開催（総会、賀詞交歓会）
- 会員親睦行事の開催
- ビジネス交流会の開催（年2回程度）

#### (4) 海外視察部会

- セミナーや講演会の実施
- 海外視察の実施については新型コロナウイルスの感染状況を勘案して判断

#### (5) 広報部会

- 情産協ニュースの作成
- 情産協ホームページの運営
- 情産協SNSの運営
- 協会会員向けのメールでの情報提供
- 「ひろしまITフェス2023」(仮称)の広報活動

### 企画委員会

#### 1 事業方針

「ひろしまITフェス2023」(仮称)の開催にむけた準備・企画検討を行います。

本来であれば来年度は、情報化シンポジウムとしてパネルディスカッションや講演会の企画を行いますが、「ひろしまIT総合展2022」の出展者及び来場者アンケートからのDXに関する関心の高さを受け、広島企業のDXソリューション商材を中心としたミニ展示会も併設し相乗効果を生む新しいイベントとして企画したいと思えます。

コロナ禍の終息も想定できない状況ですが、行政機関や各種団体との連携(共催・後援等)を深め、広島IT業界と地域産業の発展に寄与できるよう、イベントの成功に向けて取り組んでまいります。

#### 2 事業計画

- (1) 準備委員会の組織編制
- (2) 準備委員会の開催
- (3) 行政機関、関連団体との連携協議
- (4) 開催企画書(案)、収支予算(案)の作成
- (5) 開催当日の運営